

令和7年12月24日

2学期終業式

2学期が今日で終わります。

2学期の始業式で、松下幸之助さんの話から「人任せにせず、自分のこととして1人1人が行動する姿勢」と「最後までやり抜く気持ち」をもって頑張ろうという話をしました。みなさんの2学期はどんな学期だったでしょうか。

今日は、目標を持つことの大切さについて話をします。私が大学4年生の時に、塾のアルバイトをしていました。私が教えていたのは、高校には入れなかった生徒や、高校には入学したけれども中退をし、高校生活をやり直そうとする生徒でした。私はそこで英語を教えていました。私は、数学を専攻していて、英語は大変苦手でした。生徒達は、4月英語のテストで一桁しかとれない生徒ばかりで、どうしたらいいかと考えていました。生徒達には、目標がありました。僕は、○○高校に入学してラグビーで花園にいくとか、自分は入試に失敗したから工業高校に行ってものづくりをするなど、みんな自分の夢や目標のために高校受験に臨んでいました。1年後、20人ほどのクラスでしたが全員が自分の目標とする高校に入学します。どの生徒も400点近くの得点をとれるようになっていました。

人が本気になるとすごいなと思いました。

勉強に限らず、目標を持つことで自分の力を伸ばすことができます。もっと言えば、スポーツでも優勝したいと思う気持ちがなければ勝利はやってこないし、努力もしないと思います。

来年は、うま年ですが丙午（ひのえうま）の年といわれ、「強いエネルギー」と「行動力」などの意味を持つ年と言われています。来年のスタートに向けて、自分の目標、なりたい自分を描いてどんな年にしたいかを具体的に考えて見てください。

来年1月7日には、みんな1人1人が目標を持ち、「人ごとではなく自分事として」取り組むスタートが切れるようにしてほしいと思います。